

2019 年度
国際学部 留学の手引き

2019

School of International Studies

Study Abroad Guide

関西学院大学 国際学部

目次

I	はじめに	1
	1. 本冊子の使い方 2. 国際学部生の留学 3. 卒業要件としての留学	
II	留学プログラム紹介	3
	1. 短期留学(語学研修) 2. 中期留学 3. 長期留学(交換留学) 4. 長期留学(認定留学) 5. 長期留学(学部科目履修型) 6. その他の留学・国際教育プログラム	
III	留学に関する奨学金	5
	1. 国際学部留学奨励金・留学奨学金 2. その他の学内外奨学金	
IV	外国語の学習・試験対策	7
	1. TOEFL 2. IELTS 3. その他の外国語検定試験 4. 学習サポート(参考書等の利用・貸出) 5. 英語で行う専門科目	
V	留学と履修・単位修得	10
	1. 研究演習科目の選択・履修 2. 第1外国語の履修・単位修得 3. 国際学部における留学科目の取扱・単位認定 4. 事前講義	
VI	留学にむけて ～計画と準備～	15
	1. ロードマップ ～4年間の学生生活と留学～ 2. 4年間のプランニング	
VII	留学に関する情報	19
	1. 情報収集 2. 留学報告書	
VIII	FAQ ～よくある質問とその回答～	20
IX	その他・備考	24
	1. Cross-Cultural College (CCC) 2. CIEC 留学準備講座 3. キャンパス内での国際交流 4. リンク集 5. 備考	

I はじめに

1. 本冊子の使い方

本冊子「国際学部留学の手引き」は、国際学部の学生が海外留学を実現させるための手引き（案内書）です。留学を考える際は、本冊子や別冊子「国際学部 留学ガイド」、各プログラムの「募集要項」を熟読し、計画的に留学準備を行ってください。

2. 国際学部生の留学

国際学部の学生は、英語、中国語、朝鮮語等の外国語運用能力を育成し、異文化に対する感受性と理解を深めるため、原則として2年生のときに短期留学（約1ヶ月）、中期留学（約3～7ヶ月）、長期留学（約6ヶ月～1年）などの留学プログラムに参加することになっています。

国際学部生が「大学時代の海外留学」という貴重な経験を通して、高い外国語運用能力や専門性、異文化間理解能力を身につけ、「世界市民」として国内外を問わず活躍できる人材になってほしいと考えています。

なお、国際学部の留学の特長は、以下のとおりです。

【国際学部の留学の特長】

1. 多様な留学プログラム

本学国際教育・協力センター（以下 CIEC）や、言語教育研究センター、国際学部が独自で実施する多様な国際教育プログラム・留学制度を活用し、留学先・留学期間・留学内容等、学生一人ひとりの能力と目的に沿った留学を可能にします。

2. 手厚い留学支援体制・サポート

本学全体の留学支援体制に加え、国際学部独自の留学サポート（オリエンテーション、事前・事後講義、留学中のサポート等）を実施し、学生のより安心して充実した留学を応援します。

3. 留学前後の重点的な言語教育

国際学部の重点的な外国語教育（第1外国語の授業や英語で行う専門科目等）により、留学前、留学中、留学後に継続して外国語運用能力を伸ばすことが可能です。

4. 国際学部独自の留学補助金

国際学部独自の留学補助金として、「国際学部留学奨励金」を原則として短期留学・中期留学・長期留学に参加する国際学部生全員に支給します。（短期留学：15万円、中期留学：40万円、長期留学1 Semester：30万円、2 Semester：60万円を支給。在学中に一回のみ受給可能。返還不要。）

このように、国際学部はみなさんの海外留学を強く応援しています。国際学部の留学の特長を存分に生かして、一人ひとりが是非「充実した海外留学」を目指してください。

また、国際学部生は共に留学を目指す仲間です。留学の準備や留学生活にはもちろん厳しさもありますが、お互いを励ましあって、海外留学、そしてその先にある「世界市民」への道を共に歩んでいきましょう。

3. 卒業要件としての留学

1. 留学必須について（留学内規抜粋）

以下の国際学部内規で定められているとおり、国際学部の学生は、在学中に所定の留学プログラム・国際教育プログラムに参加し、所定の単位を修得することが卒業の条件となっています。健康上の理由等で留学をせずに卒業することは可能ですが、あくまで例外としています。

【国際学部内規 留学内規（抜粋）】

IV 留学内規

1. 在学中に次のいずれかに参加し、所定の単位を修得することを卒業の条件とする。ただし、外国人留学生を除く。なお、①～⑦および⑨、⑩については、本学が実施するプログラムに限る。

- ① 短期留学（語学研修）
- ② 中期留学
- ③ 中期海外インターンシップ・プログラム
- ④ 中期留学プラス
- ⑤ 国連ユースボランティア
- ⑥ 国際社会貢献活動
- ⑦ 交換留学
- ⑧ 認定留学
- ⑨ 長期留学
- ⑩ ダブルディグリー留学

2. 前項の規定にかかわらず、次の理由による者は卒業することができる。ただし、所定の期日までに理由を証明する書類を添付した申請書を提出し、国際学部教授会の承認を得なければならない。

- ① 本人の病気
- ② ①に相当する理由のある場合

2. 留学に参加できない場合

留学に参加できない場合は、国際学部事務室に相談の上、必要な書類を添付して申請書を提出してください。申請期間は毎学期授業開始から2週間後（祝休日を含む）とします。申請手続き後、教授会の審議を経て、許可するか否かを本人に個別に通知します。なお、申請手続きの最終期限は、4年次春学期の申請期間までとします。

【留学不参加の対象と必要書類】

- ① 本人の病気
 - ・ 診断書
- ② ①に相当する理由のある場合
 - a. 経済上の理由
 - ・ 家計急変等の場合の家計を説明する書類
 - b. その他
 - ・ 理由書と状況を説明できる証明書等

※止むを得ず留学に参加できない理由がある場合は、国際学部事務室に相談してください。

II 留学プログラム紹介

国際学部では、原則として2年生のときに短期留学・中期留学・長期留学のいずれかに参加します。本章の説明や、各留学プログラムの概要・詳細を「国際学部 留学ガイド」や各留学プログラムの「募集要項」で確認し、各自どの留学を目指すかを検討してください。

1. 短期留学（語学研修）

短期留学（語学研修）は、夏季休暇または春季休暇を利用して、約1ヶ月間の集中的な外国語研修を行うプログラムです。研修校はいずれも外国語教育に定評のある本学の協定大学で、現地での集中的な外国語学習や、留学先の人々との交流、フィールドトリップ等のさまざまな活動を通して、外国語運用能力・異文化間理解能力を向上させます。「海外での生活を体験してみたい」、「留学に興味はあるけど、語学力に自信がないので、まずは気軽に海外に出てみたい」という方にお勧めのプログラムです。

短期留学（語学研修）の概要・詳細は別紙「国際学部 留学ガイド」やCIEC発行の「国際教育・協力プログラム募集要項」、言語教育研究センター発行の「インテンシブ・プログラムと外国語学習のすすめ」で確認してください。

2. 中期留学

中期留学は、2年生の春学期もしくは秋学期の間に、約3～7ヶ月間の集中的な外国語研修を行うプログラムです。研修校はいずれも外国語教育に定評のある本学の協定大学で、現地での集中的な外国語学習や、留学先の人々との交流、フィールドトリップ等のさまざまな活動を通して、外国語運用能力・異文化間理解能力を向上させます。短期留学よりも長い期間留学することで、語学力をさらに向上させ、現地の文化や社会についての理解をより深めたいという方にお勧めのプログラムです。

なお、国際学部の中期留学には、CIECが全学部の学生を対象に実施するプログラム以外にも、国際学部生のみを対象に実施される「国際学部中期留学」があります。

中期留学の概要・詳細は別紙「国際学部 留学ガイド」やCIEC発行の「国際教育・協力プログラム募集要項」、国際学部発行の「国際学部中期留学」で確認してください。

3. 長期留学（交換留学）

交換留学とは、本学からの推薦に基づいて、本学と学生交換協定を締結している海外の大学で1セメスターまたは2セメスター留学する制度です。短期留学や中期留学など、集中的な外国語の研修や異文化体験を主な目的としたいいわゆる語学留学とは異なり、原則として留学先大学で一般の授業（正規開講科目）を履修し、各自の専門を深めます。（ただし、中国語圏・朝鮮語圏の大学や、各留学先大学が必要と認めた場合には語学コースを履修しなければならない場合があり、正規開講科目の受講が制限される場合もあります。）

そのため、交換留学に参加するには、まず出願資格や、各留学先大学が要求する基準（授業を受けるのに必要な語学力や成績の基準）を満たし、学内選考で各留学先大学への推薦者として選ばれることなどが必要です。国際学部の重点的な第1外国語の授業や語学学習サポートなどを利用して、長期留学に必要な語学力を身につけるとともに、TOEFL[®]や学業成績の対策など、一年生のときから計画的に留学準備を行います。

交換留学の概要・詳細は別紙「国際学部 留学ガイド」やCIEC発行の「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume I」で確認してください。

4. 長期留学（認定留学）

認定留学とは、本学が募集・実施するプログラムではなく、学生自らが留学する大学を選択・出願（個人手配）して、留学先大学から入学許可を得た場合に、本学がそれを「認定留学」と承認したうえで、留学する制度です。個人手配の留学が「認定留学」と認められるためには、留学前の本人による申請後、本学が①留学先

大学が学位授与権を持つ大学であること、②正規課程への入学であること、③本人の教育上有益であることなどを審査・判断するというプロセスが発生します。

なお、個人で留学を手配するのはなかなか困難かもしれませんが、国際学部生は SAF を通じて留学先を探ることができます。SAF (Study Abroad Foundation: <http://www.studyabroadfoundation.org/japan/>) は、主に英語圏に留学したい学生に留学先を斡旋している米国の非営利団体です。

認定留学は、留学先大学に授業料を納入する必要のない交換留学と比べて、留学費用は多くかかりますが、①交換留学先がない大学を選べる、②定員枠・選考が無いため、原則として各大学の基準さえ満たしていれば留学できる、などのメリットもあります。

認定留学の概要・詳細は別紙「国際学部 留学ガイド」や CIEC 発行の「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume I」、「SAF 認定留学の手引き」で確認してください。

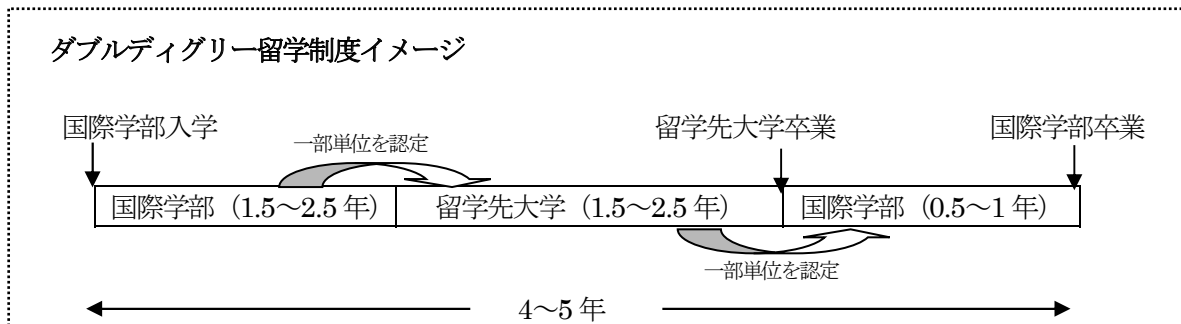
5. 長期留学（長期留学 学部科目履修型）

長期留学（学部科目履修型）とは、学費非相殺型の交換留学を指します。通常の交換留学では、留学先大学に学費を払う必要はありませんが、この留学では認定留学と同様に留学先大学に学費を払う必要があります。認定留学との違いは、自ら大学を探す必要がない点です。その他、交換留学と同じ点が多いですがこの留学の概要・詳細は別紙「国際学部 留学ガイド」や CIEC 発行の「国際教育・協力プログラム募集要項 Volume I」で確認してください。

6. その他の留学・国際教育プログラム

短期留学・中期留学・長期留学以外にも、中期留学プラス、中期海外インターンシップ、国連ユースボランティア、国際社会貢献活動等の留学・国際教育プログラムに参加することが可能です。

さらに、2012 年度以降の入学生を対象に、国際学部在学中に海外の大学に 1.5～2.5 年間留学することで、4～5 年間で国際学部と海外大学両方の学位を取得できるダブルディグリー留学制度を設けています（出願資格・選考等有り）。留学先は、オーストラリアの The University of Queensland Faculty of Business, Economics and Law (UQ-BEL) と、カナダの Mount Allison University (MTA)、University of Victoria (UVIC) の 3 大学です。



*UQ-BEL の場合は最短 4 年、MTA、UVIC の場合は最短 5 年でダブルディグリー取得が可能です。

各プログラムの概要・詳細は、別紙「国際学部 留学ガイド」や CIEC 発行の「国際教育プログラム募集要項」、「ダブルディグリー留学案内」等で確認してください。

【参考：各留学参加者・参加予定者数 内訳（2019 年 3 月時点）】

留学種別	2015年度 入学生	2016年度 入学生	2017年度 入学生	2018年度 入学生
交換留学	96 名	111 名	108 名	73 名
認定留学	3 名	3 名	3 名	0 名
長期留学(学部科目履修型)	0 名	0 名	0 名	4 名
ダブルディグリー留学	1 名	0 名	0 名	0 名
中期留学(CIEC)	95 名	111 名	91 名	51 名
国際学部中期留学	9 名	17 名	14 名	10 名
短期留学(語学研修)	74 名	67 名	99 名	72 名
中期海外インターンシップ	7 名	10 名	5 名	5 名
国際ボランティア	10 名	9 名	6 名	0 名
計	295 名	328 名	326 名	215 名

※複数回参加者を含む。

Ⅲ 留学に関する奨学金

1. 国際学部留学奨励金・留学奨学金

国際学部独自の留学補助金として、「国際学部留学奨励金」を原則として各留学に参加する国際学部生全員に支給します。また、各年度の長期留学参加者のうち、主に学業成績が優秀な学生（若干名）には、国際学部留学奨励金とは別に、「国際学部留学奨学金」を支給します。

各留学における国際学部留学奨励金・留学奨学金の支給額、諸注意は以下のとおりです。

【国際学部留学奨励金・留学奨学金 支給額一覧表】

留学種別	留学奨励金	留学奨学金
英語・中国語・朝鮮語・スペイン語短期留学（語学研修）、ドイツ語・フランス語語学研修	15万円	—
中期留学	40万円	—
中期海外インターンシップ	40万円	—
国連ユースボランティア（UNVからの補助ありの場合支給無し）	40万円	—
国際社会貢献活動（JICAに派遣の場合支給無し）	40万円	—
中期留学プラス	20万円	—
交換留学・認定留学（2学期間）	60万円	40万円（成績優秀者）
交換留学・認定留学（1学期間）	30万円	20万円（成績優秀者）
長期留学（2学期間）	60万円	40万円（成績優秀者）
長期留学（1学期間）	30万円	20万円（成績優秀者）
ダブルディグリー留学	30万円	—

* 国際学部留学奨学金・留学奨励金は共に在学中に一人一回の申し込み・適用となります。

* 原則として、一回の留学においてその他の留学関連の奨学金と重複受給することはできません。
（一部の留学先大学支給の奨学金との重複受給は可能。）

* 上記以外のプログラム（国際セミナー等）には適用されませんので、注意してください。

* ダブルディグリー留学については、別途ダブルディグリー留学奨学金制度（選考あり）が設けられています。詳細は「ダブルディグリー留学案内」等を参照してください。

なお、国際学部留学奨励金・留学奨学金は、国際学部生のみを対象に募集されるので、国際学部留学奨励金・留学奨学金についての質問・相談は、以下の「国際学部留学奨励金・留学奨学金規程（抜粋）」と、本冊子P.23「【③奨学金に関するQ&A】」を参照のうえ、国際学部事務室で行ってください。（国際学部留学奨励金・留学奨励金の募集は、国際学部の掲示板等でご案内します。）

【国際学部留学奨励金・留学奨学金規程（抜粋）】

（目的等）

第1条 国際学部にて在籍し海外留学に参加する学生を経済的に支援し、勉学を奨励することを目的として国際学部留学奨学金（以下「奨学金」という。）及び国際学部留学奨励金（以下「奨励金」という。）を設定する。

（資金）

第2条 奨学金及び奨励金の資金は学院の経常収入をもってこれにあてる。

（資格）

第3条 奨学金を受ける者の資格は、過去に奨学金を受給していない者で、次の各号の一とする。

- 1 交換留学の参加者のうち、人物、学業成績とも優秀であると国際学部教授会が認めた者
- 2 認定留学の参加者のうち、人物、学業成績とも優秀であると国際学部教授会が認めた者
- 3 長期留学の参加者のうち、人物、学業成績とも優秀であると国際学部教授会が認めた者

2 奨励金を受ける者の資格は、過去に奨励金を受給していない者で、次の各号の一とする。ただし、1～7および9、10については、本学が募集を行うプログラムに限る。

- 1 英語・中国語・朝鮮語・スペイン語短期留学（語学研修）、ドイツ語・フランス語語学研修の参加者
- 2 英語・中国語・朝鮮語・フランス語中期留学の参加者
- 3 中期海外インターンシップ・プログラムの参加者
- 4 中期留学プラスの参加者
- 5 国連ユースボランティアの参加者
- 6 国際社会貢献活動の参加者
- 7 交換留学の参加者
- 8 認定留学の参加者
- 9 長期留学の参加者
- 10 ダブルディグリー留学の参加者

(金額及び交付)

第4条 奨学金及び奨励金の留学種別ごとの金額は別表のとおりとし、一括して交付する。

- 2 中期留学と中期留学プラスは重複して交付することができる。
- 3 奨学金と奨励金は1回の留学において重複して交付することができる。
- 4 本学が募集を行う学内外の給付型の留学奨学金または留学奨励金と重複して交付しない。
- 5 前条第1項第2号及び第2項第8号に該当する場合、認定留学助成金と重複して交付することができる。
- 6 前条第2項第10号に該当する場合、ダブルディグリー留学奨学金支給期間終了後も留学を継続する必要のある者のうち国際学部教授会が適当と認めた者に限り支給することができるものとする。
- 7 奨学金の交付金額は、毎年度について2学期間留学した場合の3名分を上限とする。

(期間)

第5条 奨学金及び奨励金を支給する期間は、留学に参加する当該年度とする。

(申請)

第6条 奨学金及び奨励金の支給を受けようとする者は、所定の書類を国際学部長に提出しなければならない。

(採用)

第7条 奨学金及び奨励金の採用は、国際学部教授会で決定する。

(交付の停止及び返還)

第8条 次の各号の一に該当する場合、奨学金及び奨励金の交付を停止する。

- 1 奨学金及び奨励金を辞退したとき
- 2 留学を辞退したとき
- 3 国際学部教授会が不適当と認めたとき

2 奨学金及び奨励金の交付後に前項第2号、3号に該当する場合、奨学金及び奨励金の返還を求めることができる。

(所管)

第9条 この規程に関する事項は国際学部教授会が所管し、事務は国際学部事務室において行う。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、国際学部教授会及び大学評議会の議を経て理事会で決定する。

2. その他の学内外奨学金

その他の留学関連の学内外奨学金として、下表のようなCIECで全学部の学生を対象に募集される奨学金や、国内外の政府、その他地方自治体や民間団体が募集するものがあります。(内容は変更になる場合があります。)

CIECが募集する奨学金など、一回の留学において国際学部留学奨励金・留学奨学金と重複受給できないものもありますが、中には支給額が大きい奨学金もあるので、各募集要項や学内の掲示板、日本学生支援機構(JASSO)「海外留学奨学金」のwebサイト(<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>)等を参考にして、各自で募集情報を入手して、積極的に応募しましょう。

取扱窓口等	奨学金(金額)
国際教育・協力センター(CIEC) 一部学外奨学金も含む。 参考資料:『国際教育・協力プログラム募集要項』等	・佐伯海外留学支援奨学金(2 Semester:100万円、1 Semester:50万円) ・交換留学奨学金(2 Semester:30万円、1 Semester:15万円) ・長期留学奨学金(2 Semester:50万円、1 Semester:25万円) ・一部協定大学からの補助・奨学金(大学により金額等は異なる) ・中期留学奨学金(20万円)
学生課 参考資料:JASSOのWebサイト	JASSO第二種奨学金(海外)(貸与奨学金、返済要) 月額2万円～12万円(1万円刻み)

IV 外国語の学習・試験対策

留学の実現にむけて欠かせないもの、それは語学力です。特に、英語中期留学や長期留学等の出願・選考の際には、TOEFL[®]等のスコアが参加資格・出願資格・語学要件等になっている場合があるため、各プログラムや留学先で必要とされる外国語運用能力やスコアを満たす必要があります。

以下の外国語学習に関する情報を参考にして、早めの学習計画・受験計画・試験対策を行きましょう。

1. TOEFL[®]

TOEFL[®]（トーフル）とは Test of English as a Foreign Language の略で、おもに英語圏の大学・大学院が、英語を母語としない学生の入学要件として課している世界規模の英語テストです。そのスコアは、CIECで募集する英語中期留学や交換留学（英語受験）の出願・選考などにおいて利用されます。

なお、2019年4月現在、国内で受験可能な TOEFL[®]として、①TOEFL iBT[®]（Internet-based Test インターネット版 TOEFL テスト）、②TOEFL ITP[®]（Institutional Testing Program 団体向けテストプログラム）があります。

1. TOEFL iBT[®]

「TOEFL[®]」の公的なスコアは、この TOEFL iBT[®]で取得したスコアのことを言います。テストでは Listening、Writing、Reading、Speaking の4技能を総合的に測定します。会場は全国の各都市で、年50回程度、主に土曜日と日曜日に行われます。TOEFL iBT[®]についての詳しい情報の確認や、受験申し込みは下記ウェブサイト（<https://www.cieej.or.jp/toefl/>）で行ってください。

【TOEFL iBT[®] の受験料と問合せ先】

受験料： Regular registration（受験日の7日前まで）… 235 アメリカドル

Late registration（受験日の4日前まで【オンラインの場合】）… 275 アメリカドル

問合せ先： 国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部

2. TOEFL ITP[®]

TOEFL[®]の団体向けテストプログラムである TOEFL ITP[®]は、過去のペーパー版 TOEFL[®]テスト（TOEFL PBT[®]：2017年7月に廃止）で出題されたものを再利用しています。テストでは Listening、Structure、Reading の技能を測定し、スコアは公的なものではありませんが、TOEFL iBT[®]のスコアと高い相関関係があります。また、本学の留学プログラムの中には、TOEFL ITP[®]のスコアで出願可能なものもあります。留学を考えている学生は、まず、この TOEFL ITP[®]を積極的に受験してみましよう。

2019年度に西宮上ヶ原キャンパスで、計8回実施される TOEFL ITP[®]のスケジュールは次のとおりです。

【2019年度 TOEFL ITP[®] スケジュール】

実施日	実施キャンパス	主催	受験料	定員	申込期間	申込方法	結果返却予定日
4月20日(土)	西宮上ヶ原	関西学院大学	4,300円	250名	3月1日(金)～4月12日(金)	有料分: 大学生協書籍カウンター(西宮上ヶ原/ 神戸三田)に設置されている申込書に 必要事項を記入の上、受験料とともに 提出。 無料分: 言語教育研究センターHPに掲載の 申込フォームから必要事項を入力。	5月15日(水)
6月8日(土)			無料	700名(抽選)	4月22日(月)～5月12日(日)		6月27日(木)
8月7日(水)			4,300円	100名	5月24日(金)～31日(金)		8月27日(火)
9月7日(土)			4,300円	350名	6月1日(土)～7月31日(水)		9月25日(水)
10月5日(土)			4,400円	350名	7月1日(月)～8月30日(金)		10月24日(木)
11月9日(土)			無料	300名(抽選)	9月2日(月)～27日(金)		11月26日(火)
12月14日(土)			4,400円	200名	10月7日(月)～13日(日)		2020年1月10日(金)
2020年 3月23日(月)			4,400円	250名	10月25日(金)～11月1日(金)		2020年4月10日(金)
			4,400円	200名	11月1日(金)～12月6日(金)		
					2020年 1月6日(月)～3月16日(月)		

※日程等は2019年3月時点での予定です。国際学部掲示板等で必ず最新情報を確認してください。

3. TOEFL[®]対策講座のご案内

本学の教務機構では、TOEFL ITP[®]、TOEFL iBT[®]の対策講座を設けています。本講座は課外講座となりますので、受講料と個別の申し込みが必要です。TOEFL[®]対策講座の詳しい情報や申し込み手続きについては、教務機構発行の「関西学院大学エクステンションプログラム講座案内2019」で確認してください。

○問合せ先： 関西学院大学 教務機構事務部事務室(G 号館 1 F)

2. IELTS

IELTS (アイエルツ) とは、International English Language Testing System の略で、TOEFL[®]と並び、おもに英語圏の大学・大学院への留学の際に利用され、Listening、Writing、Reading、Speaking の各分野の能力を総合的に図る英語テストです。交換留学や認定留学等で、IELTS Academic Module のスコアを語学要件としている大学への留学を希望する学生は、TOEFL[®]に加えて IELTS Academic Module の受験を是非検討してみましょう。

○問合せ先： 日本英語検定協会 (アイエルツについて) <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

3. その他の外国語検定試験

1. TOEIC[®]

TOEIC[®] (トイーック) とは Test of English for International Communication の略で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。TOEIC[®] や TOEIC IP[®] (Institutional Program : 団体特別受験制度) のスコアは、各留学の出願・選考には利用されませんが、海外インターシップの参加資格、各言語教育科目の単位認定制度、英語で行う科目等の履修資格などにおいて利用されます。

また、一般的に、3年次以降の就職活動の際には、TOEFL[®]・英検等の資格よりも、TOEIC[®]やTOEIC IP[®]のスコアが英語力を証明する重要な資格になるとされています。

○問合せ先： TOEIC[®] 公式WEBサイト <http://www.iibc-global.org/toeic.html>

TOEIC[®]及びTOEFL[®]はエデュケーション・テストング・サービス (ETS) の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けまたはその承認を得たものではありません。

2. 漢語水平考試 (HSK)

漢語水平考試 (HSK : Hanyu Shuiping Kaoshi の略) とは、中国政府 (教育部) による、中国語を母国語としない中国語学習者のための唯一・公認の中国語能力認定標準化国家試験です。資格は、留学プログラムの出願や留学先大学の履修条件、国際学部の言語教育科目の単位認定制度などにおいて利用されます。

○問合せ先： 漢語水平考試 (HSK) WEB サイト

<http://www.hskj.jp/>

3. 韓国語能力試験

韓国語能力試験とは、韓国教育課程評価院による、韓国語を母語としない韓国語学習者のための韓国政府 (教育科学技術部) 認定の試験です。資格は、留学プログラムの出願や留学先大学の履修条件、国際学部の言語教育科目の単位認定制度などにおいて利用されます。

○問合せ先： 韓国教育財団 WEB サイト (韓国語能力試験について)

<https://www.kref.or.jp/examination>

4. 学習サポート (参考書等の利用・貸出)

高い外国語運用能力を身につけるためには、日々の自主学習が必要となります。

大学図書館2階にある視聴覚資料利用コーナーでは、ビデオ、LD、DVDなどの視聴覚資料の利用や、外国語放送の視聴が可能です。個人の資料を持ち込んで利用することもできますので、ヒアリングの学習等に利用してください。

また、G号館1階にある教務機構言語教育研究センター視聴覚室は、カセットテープ、CD、ビデオ、LD、DVD等の外国語視聴覚資料の利用・貸出のサービスを提供している他、TOEFL[®] や外国語検定試験参考書などの利用・貸出を行っています。国際学部の資料室にも TOEFL[®]・TOEIC[®] の参考書等を配架しています。

これらの施設を積極的に利用して、各自留学に必要とされる外国語運用能力を身につけましょう。

5. 英語で行う専門科目

国際学部では、第1外国語の授業 (言語教育科目) の他に、英語で行う専門科目を多数開講しています。英語で行う専門科目は、国際学部2コース3領域の各専門テーマや、日本・東アジアの文化・政治・経済などについて、英語で、国際的・多角的な視点から理解を深めることを目的としています。授業では、世界各国からの外国人留学生と机を並べ、英語での講義・発表やディスカッション等を実施して、日本にいながらあたたかも海外の大学で学ぶような雰囲気を味わうことができます。

国際教育・協力センターが開講している総合日本学習科目など、授業を履修するために TOEFL ITP[®] 530点 (iBT 71点)、TOEIC[®] 680点、英検準1級、IELTS 5.5点以上のスコアが履修資格となる場合もありますが、高度な英語力を身につけたい学生、長期留学を目指す学生、留学後に継続して英語で専門科目を学びたい学生、授業を通して外国人留学生と交流したい学生などにとって、非常に有意義な機会となりますので、積極的に英語で行う専門科目を申し込み・履修してください。

V 留学と履修・単位修得

2年次に留学し、かつ、4年間で卒業するためには、留学中はもちろん、留学前・留学後に計画的に単位を修得していかなければなりません。また、中期留学や長期留学など、学期中に各プログラムに参加する場合、「研究演習」(3年次から所属する通称「ゼミ」)等の選択・履修に関して、特別な手続きが必要になる場合があります。以下の情報や「国際学部 履修の手引き」に記載している詳細を確認し、履修・単位修得についてしっかりと計画を立てましょう。

1. 研究演習科目の選択・履修

1. 「研究演習 I」または「Research Seminar I」の先修条件

履修基準年度3年の「研究演習 I」または「Research Seminar I」は、2年次までに定められた科目群の単位を修得していなければ、履修することができません。3年次に「研究演習 I」を履修できなければ、卒業が少なくとも1年遅れる(留年する)ことになってしまいます。

留学を計画する際には、この点を理解し、2年終了時まで「研究演習 I」または「Research Seminar I」の先修条件(進級条件)を満たせるようにしましょう。この条件は決してハードルの高いものではありません。

【研究演習 I / Research Seminar I の先修条件】

*下記単位の修得の他、休学期間を除く2年間の在学期間が必要。

【一般学生】		【日本語話者留学生 / English-Based International Student】	
第1外国語初級	8単位	第1外国語初級	8単位
第2外国語初級	2単位	国際基礎科目 第2類(基礎的科目)	2単位
国際基礎科目 第1類(入門的科目)	4単位	国際基礎科目 第3類(基礎演習科目)	4単位
国際基礎科目 第2類(基礎的科目)	8単位	卒業必要単位に算入できる科目で上記以外	18単位
国際基礎科目 第3類(基礎演習科目)	4単位	合計	32単位
卒業必要単位に算入できる科目で上記以外	6単位		
合計	32単位		

2. 2年次秋学期に留学する国際学部生の研究演習 I の選択について

「研究演習 I」の選択は、2年次の秋学期に行われる予定です。そのため、2年次の秋学期に長期留学や中期留学等に参加して国内にいない場合、通常の方法では「研究演習 I」の選択の手続きをすることができません。2年次秋学期に留学等に参加する場合は、各留学の事前講義等で配付される説明資料や、「履修の手引き」、別途お知らせする「研究演習選択案内」冊子に記載の注意事項を確認して、「研究演習 I」の選択について所定の手続きをとってください。

3. 3年次・4年次に留学する国際学部生の研究演習科目履修の特例について

国際学部に内規に基づき、3年次・4年次に卒業条件となっている留学プログラムに参加する者には、以下のような研究演習科目の履修を認めます。3年次・4年次での留学が決まった者は、早急に研究演習担当者と授業方法等について相談の上(研究演習未決定者を除く)、「研究演習科目特例履修届」を定められた期間に国際学部事務室に提出してください。

なお、特例7では、担当教員の指定する8単位分の国際専門科目を履修することによって研究演習Ⅱ・卒業論文(または Research Seminar II・Graduation Thesis)を代替します。この特例措置を希望する者は、定められた期間に別途手続きが必要です。(特例7による留学を希望する者は、留学を計画する段階で国際学部事務室に相談に来てください。)

なお、特例番号は原則として個人の都合により選択・変更することはできません。

(参考：2019年度入学生が2年次の秋学期～3年生の春学期に交換留学に参加する場合の English 履修モデル例)

①1年遅れでEnglishの授業を履修する場合

1年生		2年生		3年生		4年生	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
English I	English II	English III	← 交換留学 →		English IV	English V	(English VI)

→4年生まで週2コマ(または週4コマ)のEnglishの履修が必要

②留学後に「検定試験等による単位認定制度」を利用する場合

1年生		2年生		3年生		4年生	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
English I	English II	English III	← 交換留学 →		・TOEIC850点取得 →単位認定申請 →English IV・V単位認定		

→第1外国語の卒業必要単位は3年生でクリア可能。

③留学前に「検定試験等による単位認定制度」を利用する場合(上位科目履修等※)

1年生		2年生		3年生		4年生	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
English I	・TOEFL550点取得 →English II・III・IV 単位認定	English V	← 交換留学 →				

→第1外国語の卒業必要単位は2年生でクリア可能。3・4年次にEnglish VI・VII・VIIIの履修も可能。
※上位科目履修申請手続きや注意事項等の詳細は、「国際学部 履修の手引き」でご確認ください。

3. 国際学部における留学科目の取扱・単位認定

短期留学、中期留学、長期留学をはじめ、各留学中に履修する科目や修得した単位の認定・取扱について、国際学部では以下の特徴があります。

1. 短期留学 単位取扱・成績評価方法

国際学部生が CIEC で募集・実施される外国語研修に参加した場合の単位取扱・成績評価方法については以下のとおりとなります。

■単位取扱

- ・1年次に参加の場合：「外国大学科目」(自由履修科目に算入)
- ・2年次に参加の場合：「英語短期留学科目」、「中国語短期留学科目」、「朝鮮語短期留学科目」(1～5単位)言語教育科目の留学科目として、第1外国語の単位の単位に算入。
ただし、第1外国語と留学先で学ぶ言語が異なる場合、自由履修科目に算入。
(その場合、別途選択中の第1外国語科目の単位修得が必要です。)

■成績評価：当該留学先からの得点×90%+国内評価×10%=最終評価

※国内評価は、受講者の CIEC 事前・事後講義、国際学部事前講義の出席・受講態度・提出物の評価を合わせた総合的評価に基づく。事前・事後講義への無断欠席や提出物が未提出の場合は最終評価が0点となる。

2. 中期留学 単位取扱・成績評価方法

国際学部生が中期留学に参加した場合の単位取扱・成績評価方法は、次のとおりとなります。

■単位取扱

- ・「英語中期留学科目」、「中国語中期留学科目」、「朝鮮語中期留学科目」(8~16単位)
言語教育科目の留学科目として、第1外国語の単位に算入。
ただし、第1外国語と留学先で学ぶ言語が異なる場合、自由履修科目に算入。
(その場合、別途選択中の第1外国語科目の単位修得が必要です。)
- ・「スペイン語中期留学」、「フランス語中期留学」、「ドイツ語中期留学」は自由履修科目に算入。

■成績評価：当該留学先からの得点×90%+国内評価×10%=最終評価

※国内評価は、受講者のCIEC事前・事後講義、国際学部事前講義の出席・受講態度・提出物の評価を合わせた総合的評価に基づく。事前・事後講義への無断欠席や提出物が未提出の場合は最終評価が0点となる。

3. 長期留学の単位認定について

国際学部生が長期留学(交換留学・認定留学・学部科目履修型長期留学)に参加した場合、留学先で修得した単位については以下のとおり取り扱います。

1. 単位認定の原則

- ①留学先で修得した単位は、帰国後、学生本人の申請と、国際学部教員等による審査の上、原則として「外国大学科目」として認定されます。(「教育課程表」(履修の手引き参照)の計7分野に設置、各1科目につき1~8単位)(必要に応じて国際学部開講科目への直接読替も可能。)
ただし、審査の結果、本人希望通りの科目に認定されない場合や、国際学部の取り扱う教育分野と著しく内容が乖離している科目、留学先大学での正規開講科目ではない科目、などについては単位の認定が認められない場合があります。
- ②1科目も単位認定を希望しない場合は、単位認定申請をしない旨を国際学部事務室に連絡してください。
- ③科目が認定される際は、原則素点(数字の得点)をつけて認定します。Letter Grade(A,Bなど)の場合はあらかじめ設定された基準に基づき素点に読み替えた上で認定します。
- ④素点に読み替えられて認定された科目は、GPAに影響します。
- ⑤認定単位数の計算基準は以下のとおりです。

- (1)「言語教育科目、実験科目、実習科目及び実技科目」の場合
本学(1単位):90分×15週×1回=1,350分(1単位:1,350分)
→留学先での学習時間(科目ごとの総学習時間)を1,350分で割った数が認定単位数となる
- (2)「講義科目及び演習科目」の場合
本学(2単位):90分×15週×1回=1,350分(1単位:675分)
→留学先での学習時間(科目ごとの総学習時間)を675分で割った数が認定単位数となる

(単位認定例)

- ・留学先で「北米の文化」に関する講義科目(50分×週3回×15週=2250分)の単位を修得
→審査のうえ、「外国大学科目(北米研究コース科目)(3単位)」として単位認定。
- ・留学先で「Chinese」など言語教育系の科目(50分×週2回×15週=1500分)の単位を修得
→審査のうえ、「外国大学科目(第1外国語中級)(1単位)」として単位認定。

2. 「単位認定願」の提出

提出物：①「単位認定願」（国際学部指定のExcelファイルに入力・保存→印刷したもの）

② 留学先大学から入手した「成績証明書」原本

③ シラバス・テキスト・ノート・配布資料 等、授業で使用したものすべて

※②については、原本の入手が遅れる場合、WEB上で確認できる成績結果を提出することで手続きを進めることもできます。審査後、②・③は返却します。

提出場所：国際学部事務室

提出期日：原則として帰国後1ヶ月以内に提出すること

※第1外国語・第2外国語への単位認定を希望する場合など、単位認定の結果が次学期の言語教育科目の履修に関係する場合は、各学期の始まる約2ヶ月前(春学期:1月下旬、秋学期:7月下旬)までに手続きを終える必要があります。

※成績証明書やシラバスを確実に早急に入手して、単位認定願を作成・提出するなど、迅速に手続きを行うこと。

3. 認定結果の通知

審査後、単位認定結果を配布します。認定作業完了後、教学 Web サービス等にて呼出を行いますので、国際学部事務室まで受け取りに来てください。なお、単位が認定されるには、教員審査や国際学部教授会スケジュール等の理由で、一定の期間が必要になります。言語教育科目への単位認定を希望する場合など、単位認定の結果が次学期の履修に関係する場合は、留学先大学の成績証明書を早めに入手したり、「単位認定願」を早急に提出したりするなど、特に迅速に手続きを行うことが重要です。

4. 事前講義

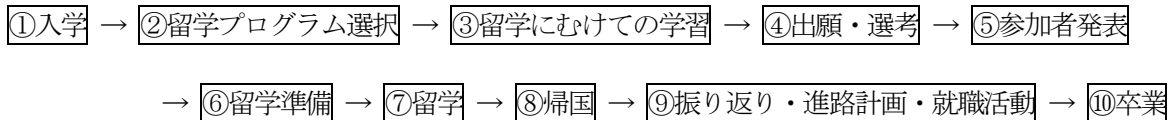
国際学部生は、各留学の参加者が決定後、主に CIEC が主催する説明会・事前研修会（他学部生も含む各留学の参加者全員を対象）とは別に、国際学部主催の事前講義（国際学部生のみを対象）に参加することが必須となっています。CIEC 主催の事前研修会・オリエンテーションや、国際学部主催の事前講義に欠席した場合、参加が取り消されることがあるので、留意してください。（事前講義の詳細は、各留学の募集要項や、留学決定後に配付する案内文書、国際学部掲示板等でお知らせします。）

VI 留学にむけて ～計画と準備～

1. ロードマップ ～4年間の学生生活と留学～

大学生活は決して長いものではありません。以下のロードマップを参考に、各自が「どの留学に参加し、どのような4年間の大学生活を送りたいか」を考え、留学にむけて少しでも早く計画立案と準備を行いましょう。

【ロードマップ (モデル)】



①入学

大学生活がスタートします。国際学部留学オリエンテーションで説明を聞き、まずは本冊子や各留学の募集要項に目を通して、留学についての全般的な情報を手に入れましょう。



②留学プログラム選択

自分がどの留学に参加するのかについて具体的に考え始めます。「なぜ留学したいのか」「どこで何をどれくらいの間学ぶか」「留学を自分の将来にどう結びつけるか」などについて自己分析をして、留学の目的や動機を徐々に明確にしていき、希望する留学プログラム・留学先を決めましょう。

また、家族との相談や綿密なコミュニケーションが必要です。特に費用面についての相談を忘れずに、自分が「どの時期に、どこで、どのような内容のプログラムに参加したいのか、どれくらい費用がかかるか」について、しっかりと説明し、家族の理解を得ておきましょう。



③留学にむけての学習

留学にむけて、TOEFL[®]等の試験対策や、学業成績対策に励みましょう。特に、中期留学や交換留学では、TOEFL[®]のスコアや学業成績・単位修得状況が出願資格になっていることが多いため、各プログラムや留学先で求められる要件を満たせるよう、早めの学習計画・受験計画・試験対策を行いましょう。



④出願・選考

参加したいプログラムが決まったらいよいよ出願です。各プログラムの募集要項等をよく読んで出願しましょう。(期日までに必要な書類、TOEFL[®]のスコア等をそろえられるよう、早めの準備にとりかかりましょう。)

また、交換留学では、出願後、数ヶ月にわたって学内選考が行われます。面接試験等の対策を行うとともに、引き続き日々の学習（TOEFL[®]受験・対策や学業成績対策等）に励みましょう。

⑤参加者発表

いよいよ参加者の発表（合格発表）です。選考等の結果、参加者に選出されなかった場合は、ただちに計画を変更してその他のプログラムに申し込むか、再挑戦（次期募集への出願）にむけて、気持ちの切り替えと準備が必要です。

⑥留学準備

参加するプログラムが決まったら、ここからは出発にむけての具体的な準備が始まります。各プログラムで開催されるオリエンテーションやガイダンス、事前研修などに必ず参加して、ビザの申請や航空券・留学先宿舍の手配などの手続きをひとつひとつ進めましょう。

また、留学中の学習や帰国後の単位認定・履修（コースや研究演習クラスの選択等）、卒業後の進路についても、具体的に準備をすすめましょう。

⑦留学

健康、安全に気をつけて充実した留学生活を送ってください。また、帰国後のスケジュールや就職活動、大学院等の進学については、留学中に準備をすすめるのが良策です。さらに、留学中のトラブル回避・対処のためにも、CIEC や国際学部事務室の教職員とは、常に連絡をとれるようにしておきましょう。

⑧帰国

帰国後は、速やかに CIEC や国際学部事務室等に対して、帰国報告や単位認定等の必要手続きを行ってください。また、留学を終えて間もないこの時期に、今後の進学や就職活動等にむけて、TOEFL[®]や TOEIC[®]、その他の外国語検定試験を受けておくのも良いかもしれません。

⑨振り返り・進路計画・就職活動

各自で留学経験を振り返り、今後の学生生活や将来の進路にどのようにつなげるのかを考えましょう。また、一般的に 3 年生の後半からは、就職活動や国内外の大学院進学などにむけて準備が始まります。留学で得た経験を次のステップにどう生かすかについて考え、各自が納得のいく進路選択を行ってください。

⑩卒業

4 年間の学生生活や留学で得た経験を生かし、卒業後は国際性と人間性を備えた「世界市民」として、国際的なビジネス・市民社会での活躍を目指してください。

2. 4年間のプランニング

国際学部では、教育効果や就職活動との重複を考え、2年次での留学を原則としています。しかし、一般的に、短期留学（語学研修）では1年生、長期留学では3～4年生の参加者も多く、また、4年間で複数の留学に参加するなど、実際にはさまざまな留学パターンがあります。

【4年間のプラン（留学選択ポイントと留学パターン）】

留学パターン紹介&希望パターン検討

Aさんのポイント：①今すぐにも1年間留学したい。②海外経験があり、英語力には自信がある。③語学留学ではなく経済・経営の専門を深めたい。

Aさんのパターン：

1年生		2年生	
春学期	秋学期	春学期	秋学期
English I	English II 英語による科目	English III 英語による科目	English IV
★4月中旬 TOEFL ITP受験(目標550点) ◎5月中旬 交換留学第1期出願 ○6月上旬 英語面接試験 ■学業成績(目標GPA 3.5) ★6月 TOEFL iBT受験(目標61点) ★7月 TOEFL iBT受験(目標71点) ★8月 TOEFL iBT受験(目標80点)	○8月下旬 最終TOEFLスコア提出		● 交換留学(第1希望:エモリー大学) (理由:①経営学で有名、②日本人が少ない、③施設◎)

Bさんのポイント：①在学中に半年間留学したい。②英語力や学力に自信が無いので、まずは英語や基礎知識を学びたい。③留学資金は用意できる見込み。

Bさんのパターン：

1年生		2年生	
春学期	秋学期	春学期	秋学期
English I	English II	English III	English IV
★4月中旬 TOEFL ITP受験 ★6月上旬 TOEFL ITP受験 ★8月 TOEFL iBT受験 ■学業成績(目標GPA2.5)	● 英語研修 (トロント大学) ★10月 TOEFL iBT受験(目標60点) ★12月 TOEFL iBT受験(目標70点) ■学業成績(目標GPA2.75)	★4月 TOEFL iBT受験(目標75点) ★5月 TOEFL iBT受験(目標80点) ■学業成績(目標GPA3.0)	◎9月下旬 交換留学第2期出願 ○10月中旬 英語面接試験 ○11月下旬 最終TOEFLスコア提出 ■学業成績(目標GPA 3.25)

Cさんのポイント：①留学で着実に英語力を上げたい。②留学先は絶対にカナダが良い。③日本での授業や教職、課外活動も大事にしたい。

Cさんのパターン：

1年生		2年生	
春学期	秋学期	春学期	秋学期
English I	English II	English III	English IV
★4月中旬 TOEFL ITP受験(目標400点) ★6月上旬 TOEFL ITP受験(目標420点) ★8月上旬 TOEFL ITP受験(目標440点) ★9月上旬 TOEFL ITP受験(目標450点)	◎12月中旬 中期留学出願		● 中期留学(第1希望:カナダ)

あなたのポイント：

あなたのパターン：

1年生		2年生	
春学期	秋学期	春学期	秋学期

以下のAさん、Bさん、Cさんの4年間のプラン（留学選択ポイントと留学パターン）を参考に、あなた自身の留学選択ポイント、留学パターンを記入してみましょう。

		3年生		4年生	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
		★6月 TOEIC受験(目標850点) ★7月 TOEIC受験(目標900点) →EnglishIV・V単位認定	英語による科目	英語による科目	英語による科目
				就職活動(目標:総合商社)	

		3年生		4年生	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
		English V (Academic English) English V (Career English) 英語による科目	交換留学 or SAF認定留学(第1希望:北米の大学)	★6月 TOEIC受験(目標800点) ★7月 TOEIC受験(目標850点)	英語による科目
				就職活動(目標:メーカー海外営業部)	

		3年生		4年生	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期
		English V (Academic English) English V (Career English) 英語による科目	English VI (Academic English) English VI (Career English) 英語による科目	English VII (Seminar) 英語による科目	English VIII (Seminar) 英語による科目
			教員採用試験 受験勉強	教育実習 教員採用試験 受験勉強	

		3年生		4年生	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期

VII 留学に関する情報

1. 情報収集

自分に合った留学を見つけ、より充実した留学を実現するためには、留学に関する情報を収集することが重要です。本冊子や「国際学部 留学ガイド」、各留学の募集要項を熟読する以外にも、募集説明会に参加したり、下記の掲示板やウェブサイトをこまめにチェックしたりして、重要な情報を見落とさないようにしましょう。

■国際学部「留学・国際交流」掲示板 (G号館 IS棟1階)

国際学部や学内外の留学・国際交流に関連した情報が掲示されます。

■CIEC 掲示板 (G号館1階)

学内外の留学・国際交流に関連した情報や、各留学プログラムの参加者発表などが掲示されます。

■CIEC ホームページ <https://ciec.kwansei.ac.jp/>

各留学プログラムの概要やニュース・イベント情報等を掲載しています。

■CIEC メールマガジン https://jbf.f.msgs.jp/webapp/form/20991_jbfb_18/index.do

各種国際教育プログラム、CIEC 主催の講演会やセミナーなどの最新情報や、学生の留学レポートを随時お知らせ・配信しています。(上記 URL で登録受付)

■教学 web サービス <https://webinfo.kwansei.ac.jp/>

留学に関する各種お知らせ、個人呼び出し等も、教学 web サービスを通して連絡します。

2. 留学報告書

みなさんにとって、実際に留学を経験した人の声を聴くことは、留学を実現させるうえで貴重な機会・情報となるかもしれません。CIEC では、過去に留学した学生のアンケートが保管されているので、プログラムや留学先の選択、留学準備の際に、実際に留学した先輩たちの“生の声”を参考にしてください。また、交換留学、認定留学、ダブルディグリー、中期海外インターンシップをしている学生から毎月送られる定例報告書は、CIEC ホームページにある留学定例報告書閲覧サイトで閲覧可能です。なお、各留学プログラムの内容や感想は、留学先や留学年度・時期、個人の感覚等によって異なるので、各自必ず正確な情報を確認してください。



VIII FAQ ～よくある質問とその回答～

国際学部の留学に関する質問とその回答（FAQ）を紹介します。ただし、回答内容はあくまでも“おおよその例”なので、各自で必ず、各留学の募集要項等で最新の情報を確認したり、国際学部事務室やCIECなどで相談を行ったりしてください。

【①留学全般に関するQ&A】

	Q（質問）	A（回答）
1	留学についての質問・相談はどこで行えばいいですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・国際教育プログラム全般について →CIEC ・フランス語、ドイツ語研修について →言語教育研究センター ・国際学部独自の中期留学について →国際学部事務室 ・ドイツ語中期留学について →文学部事務室 ・単位認定や履修・成績評価、国際学部留学奨励金・留学奨学金について →国際学部事務室 ・SAF認定留学について →SAF ・留学前・留学中・帰国後の学習や進学先について →国際学部の教員など ・留学前・留学中・帰国後の就職活動について →キャリアセンター ・留学による教員免許取得・教職課程スケジュールへの影響について →教職教育研究センター
2	留学についての情報入手はどう行えば良いですか？	<p>留学についての情報を収集するには、主に以下の方法が考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本冊子や「国際学部 留学ガイド」で各留学の概要を理解する。 ・各留学の募集要項で詳細を確認する。 ・各留学の募集説明会等に参加する。 ・CIEC保管の定例報告（留学レポートやアンケート等）を閲覧する。 ・国際学部事務室、国際学部教員、CIEC、SAF、キャリアセンター、家族、先輩、外国人留学生等に質問・相談する。
3	留学しても4年間で卒業可能ですか？	<p>本学の留学プログラムに参加する場合は、留学期間は在学年数に数えられるので、4年間で卒業が可能です。</p> <p>しかし、留学時期・種類によっては4年間で卒業できないことや履修上の特別な措置・手続きが必要な場合があるので、しっかりと履修計画・卒業計画をたて、早めの留学計画・留学準備を行ってください。</p>
4	1年間の学部授業履修型留学に参加する場合、教員免許を4年間で取得することは可能ですか？	<p>学部授業履修型留学等で、3年次や4年次に留学中で国内にいない場合など、単位修得や教職課程のスケジュール上の問題で、4年間で教員免許取得ができない場合があります。教職課程を履修している学生で、中期留学・学部授業履修型留学に参加を希望する場合は、教職教育研究センター発行の「教職課程等 履修要項」等を確認のうえ、教職教育研究センターで個別に相談を行ってください。</p>
5	複数の留学に参加することは可能ですか？	<p>可能です。短期留学もしくは中期留学を経て交換留学に挑戦する場合など、さまざまなケースが考えられます。ただし、原則として同一の留学プログラムに2回参加することはできず、複数の留学に参加する場合、履修や卒業に遅れをとることがあります。また、国際学部留学奨励金・留学奨学金は在学中に一人一回のみの申込・適用となります。</p>
6	留学をせずに卒業することは可能ですか？	<p>本人の病気や経済上の理由等で留学をせずに卒業することは可能ですが、あくまで例外としています。留学に参加しない場合、証明書等の必要な書類を添付した「留学不参加申請書」の提出が必要になります。（本冊子P.2を参照）</p>
7	短期・中期・長期留学以外のプログラムに参加できますか？	<p>短期留学・中期留学・長期留学以外の国際教育プログラムへの参加も可能です。CIEC発行の「国際教育プログラム募集要項」を参考にして、自分に合ったプログラムを選択してください。ただし、プログラムの中には国際学部の卒業条件に入らないものや、国際学部留学奨励金・留学奨学金が適用外のものがあるので、注意が必要です。（本冊子P.2、P.5を参照。）</p>

8	希望する留学に必ず参加できますか？	<p>【短期留学（語学研修）の場合】 参加資格を満たして、申込者数が募集定員内であれば、必ず参加できます（一部大学はTOEFL®の参加資格有り）。ただし、留学先については、各留学先大学への参加希望者が募集定員を超える場合、留学先を抽選等で決めることがあります。</p> <p>【中期留学の場合】 書類選考の上、申込多数の場合は抽選を行います。参加資格（TOEFL®のスコアや言語教育科目の単位修得状況等）を満たして、書類選考を通過し、申込者数が募集定員内であれば、参加できる可能性が高いプログラムとなります。</p> <p>【国際社会貢献活動、国連ユースボランティアの場合】 派遣候補者の能力が十分でない場合、派遣機関の要請と派遣候補者の適性が不適合である場合、国際情勢や現地事情によって派遣が困難である場合など、諸事情によって派遣できない可能性があります。</p> <p>【交換留学、長期留学（学部科目履修型）、ダブルディグリー留学の場合】 交換留学に参加するには、出願資格や留学先大学が要求する語学力や成績の基準を満たし、学内選考で各留学先大学への推薦者として選ばれることが必要です。交換留学への参加を考えている方は、まずはCIECの募集説明会に参加し、早めの留学計画・準備や、学業成績・選考試験・TOEFL®等の対策を始めてください。</p> <p>【認定留学の場合】 認定留学に参加するには、主に留学先大学が要求する語学力や成績の基準を満たす必要があります。SAFを通して認定留学を検討する際には、まずはSAFの説明会に参加したり、SAFのカウンセリングを受けたりして、早めの留学計画・準備や、学業成績・TOEFL®等の対策を始めてください。</p>
9	留学を成功させるためには、どんなことに気をつけたらいいですか？	<p>留学は、遊びに行く海外旅行とは違います。「お金を払っているのだから、してもらって当然」などと考えるのは大きな間違いです。日本で常識であることが、留学先では時として当たり前ではなく、様々な概念があることに気付かされることもあるでしょう。もし、自分が持っていたイメージと現実が違っていたとしても、頭から否定せずに、海外でのやり方について理解する努力をしてみましよう。異文化の人間同士が共に暮らすのですから、相手を尊重する気持ちと、自分の意思を何とか伝えようとする熱意が必要です。留学先で何をしたいのか明確な目標をしっかりとたて、留学先について自らリサーチをするなど、大人としての姿勢を心がけましょう。</p>
10	第1外国語で学んでいる言語以外が使われている国に留学することは可能ですか？	<p>第1外国語（もしくは第2外国語）と留学先の言語は必ずしも同じである必要はありません。ただし、第1外国語の言語以外の国へ留学した場合、短期留学・中期留学であっても、修得した単位は第1外国語初級の単位には算入されないため、第1外国語の履修に遅れが出る場合があります。</p>
11	私は3年生から北米研究コースに所属しようと思っています。留学先は北米じゃないといけませんか？	<p>研究コース（北米研究コース or アジア研究コース）と留学先の地域は必ずしも同じである必要はありません。</p>
12	3年生もしくは4年生のときに各留学に参加することは可能ですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・短期留学の場合 →可能です。ただし、4年生の秋学期（卒業学期）の短期留学に参加しても、卒業条件としては認められません。 ・中期留学の場合 →英語中期留学や国際学部中期留学は、2年生以上を対象としているため、3・4年生が参加することは可能です。3、4年生で参加する場合、修得した単位は第1外国語初級の科目にしか算入されないため、第1外国語V・VI等の履修に遅れが出る場合があります。なお、オックスフォード大学中期留学は、3月下旬に帰国となるため、当年度卒業予定の参加は不可となっています。 ・学部授業履修型留学の場合 →可能です。ただし、留学時期によっては履修・卒業、3年次後半～4年次からの就職活動に遅れが出る場合や、研究演習科目の履修において特別な措置（本冊子P.11を参照）が必要です。
13	休学留学について教えてください。	<p>休学留学とは、一般的に、大学を休学して学外のプログラムや語学研修に個人で申し込むなどして留学することを指します。休学期間は在学期間に算入されないため、4年間での卒業はできません。また、国際学部の卒業条件にも含まれないので注意が必要です。休学留学を考える場合は、必ず国際学部事務室へ相談に来てください。留学中に修得した単位は本学の単位として単位認定されず、国際学部留学奨励金・留学奨学金等、学内募集の奨学金も適用されませんが、幅広い範囲から自分の目的に合った留学先や留学内容を選択できるというメリットがあります。</p>
14	学部授業履修型留学（認定留学）や休学留学など、個人手配による留学についての質問・相談・情報入手はどこで行えばいいですか？	<p>留学に関する全般的な質問・相談はCIECで行いますが、認定留学や休学留学などの個人手配による留学を希望する場合は、SAF等で相談することをおすすめします。また、インターネットのサイトや大学図書館に配架してある留学ジャーナル等や市販の書籍でもさまざまな情報を入手できますが、CIEC・国際学部の掲示板や、日本学生支援機構（JASSO）のWEBサイト等で信用性の高い最新の情報を、各自で直接確認することが大切です。</p>
15	外国人留学生も留学に参加することはできますか？	<p>外国人留学生は日本で学ぶことがすでに留学ですので、海外留学への参加は原則としません。しかし、外国人留学生であっても、国際学部在籍する正規学生で、参加資格を満たした場合や選考に合格した場合は、各留学に参加することができます。その場合、国際学部の留学奨励金・留学奨学金は、日本人学生と同じように支給されません。</p> <p>ただし、中期留学・学部授業履修型留学に参加する外国人留学生は、言語教育科目（Japanese）の履修に遅れが出るなどして4年間で卒業できない場合がありますので、注意が必要です。また、パスポート取得、ビザ申請、日本への再入国に関して、特別な手続きが必要となる場合がありますので、事前にCIECで個別相談を行ってください。</p>

【②各留学プログラムに関する Q&A】

	Q (質問)	A (回答)
1	英語中期留学に参加したいと思っています。留学先の大学について、「各留学先の希望者が募集人数を上回った場合は抽選」とありますが、TOEFL®や学業成績が高いほど有利ですか？	中期留学や短期留学で、各留学先の希望者が募集人数を上回った場合、各留学先の参加者は、出願資格を満たした志望者の中から完全な抽選で決定します。TOEFL®や学業成績が高いほど有利というわけではありません。
2	中期留学と1セメスター交換留学との違いは何ですか？	<p>中期留学と1セメスター交換留学は一般的に留学期間はほとんど同じですが、主に以下のような違いがあります。</p> <p>■中期留学（約3～7ヶ月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に開学生や他国からの学生と語学の授業を履修する。 ・開学の学費とは別に参加費が必要。 ・国際学部留学奨励金40万円を支給 ・各留学先につき10～50名程度募集。 ・選考なし。 ・目安としてTOEFL ITP® 420～450以上（英語での留学の場合）が必要。 <p>■交換留学（1セメスター or 2セメスター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に現地の学生や他国からの学生と一般の授業（正規開講科目）を履修する。 ・学費は開学にのみ支払う。 ・国際学部留学奨励金1セメスター：30万円、2セメスター：60万円を支給 ・各留学先につき1～5名程度募集。 ・選考あり。（競争率が高い。） ・目安としてTOEFL ITP® 550以上（英語での留学の場合）、良好な学業成績等が必要。
3	長期留学をする場合、言語教育科目の履修に遅れが出ますか？	<p>長期留学では、原則として、留学先大学で専門科目等の正規開講科目を履修し、修得した単位は帰国後に審査の上、国際学部の授業科目（国際基礎科目、国際専門科目等）の単位として認定されます。そのため、国際学部の言語教育科目（第1外国語初級・中級等の科目）の履修に遅れをとる場合がありますが、その対策として以下の2つの方法が考えられます。</p> <p>①検定試験による単位認定制度（「国際学部 履修の手引き」を参照） ②留学先大学で修得してきた語学の授業の単位を、帰国後、言語教育科目として単位認定（本冊子P.13「3. 長期留学の単位認定について」を参照）</p>
4	交換留学に参加したいと思っています。2年生からの交換留学を希望する場合は、特に早めの計画・準備が必要ということですが、まずは何から始めれば良いですか？	<p>2019年度入学生のみならず2年次からの交換留学（2020-2021交換留学）に少しでも興味がある場合、まずはCIEC発行の「国際教育プログラム募集要項Volume I」を入手・熟読しましょう。そして、4月20日10:00～16:00にG号館で開催される「留学フェア」に参加しましょう。さらに、英語受験の場合は、出願時にTOEFL ITP® 480点（TOEFL iBT® 54点）以上、選考に合格するには目安として550点（TOEFL iBT® 80点）以上のスコアが必要となるため、まずは本学の生協で2019年4月20日（申込締切：4月12日）に実施されるTOEFL ITP®のテスト等を受験することを強く推奨します。</p>
5	私は是非でも英語圏の大学に交換留学したいと思っています。選考に合格して交換留学推薦者に選ばれるにはどうすれば良いですか？TOEFL®のスコアさえ基準を満たしていれば良いですか？	<p>交換留学は希望すれば全員が参加できるわけではなく、各留学先大学で求められる基準（TOEFL®のスコアや学業成績等）を満たさなければなりません。</p> <p>また、一定の単位数を修得していることや学業成績なども出願資格となっており、選考にあたっては①TOEFL®やIELTSの点数 ②英語面接試験の点数 ③学業成績の総合点で判定されます（選考方法の詳細についてはCIEC発行の「国際教育・協力プログラム募集要項Volume I」を参照）。TOEFL®等のスコア（語学要件）を満たすことは最重要課題の一つですが、TOEFL®以外にも、英語面接試験の対策や良好な学業成績をとることが重要です。</p>
6	交換留学の選考に合格するには学業成績が重要とのことですが、いつの時点での成績が対象になりますか？	<p>2020-2021年度交換留学の募集・選考では、第1期募集・第2期募集ともに、2019年度春学期までの学業成績が対象となります。2020-2021年度の交換留学参加を希望する学生は、2019年度春学期に履修する授業で、良好な成績をとるようにしましょう。</p>

7	TOEFL iBT®はTOEFL ITP®と比べて受験料が高く、WritingやSpeakingのセクションもあるので、受けたくありません。交換留学（英語受験）を希望する場合、TOEFL ITP®のみの受験・スコア提出でもいいですか？	交換留学（英語受験）の場合、本学との交渉により、公的ではないTOEFL ITP®のスコアを利用できる留学先大学もあります。しかし、TOEFL iBT®のみを利用可能とする留学先大学も多く、TOEFL ITP®のスコアを利用できる留学先大学に志望が集まりやすい傾向があるため、TOEFL iBT®もしくはIELTSのスコアを取得することを強く推奨します。
8	SAF認定留学の出願にTOEFL ITP®のスコアは利用できますか？	利用できません。SAF認定留学では主にTOEFL iBT®もしくはIELTSのスコアを利用します。その意味でも、学部授業履修型留学を考えている場合はTOEFL ITP®ではなくTOEFL iBT®もしくはIELTSを受験することを推奨します。
9	TOEFL®はいつ受験したものが有効ですか？	TOEFL®のスコアは、原則として参加前年度4月以降に受験したものが有効です。つまり、2020年度から留学に参加をする学生は、2019年4月以降のスコアが有効になります。ただし、プログラムやスコア提出時により、取扱が異なる場合があるので、各自必ず各留学プログラムの募集要項等で確認してください。
10	交換留学を希望していますが、もし選考に合格しなかった場合は、志望を変えて長期留学（学部科目履修型）、中期留学もしくはSAF認定留学、に参加できますか？	選考等の結果、交換留学の推薦者に選ばれなかった場合、選択肢としては、①計画を変更してSAF認定留学や中期留学等に申し込む（併願可能）、②長期留学（学部科目履修型）に申し込む、③次の募集期に再度交換留学に出願する、のいずれかが考えられます。（ただし、交換留学の時期を遅らせた場合は履修や3年次後半～4年次からの就職活動等に遅れをとることがあります。） 交換留学を志望する学生は、特に早めの計画・準備・受験対策を行うとともに、不合格になった場合の留学計画を立てておく必要があります。

【③奨学金に関する Q&A】

	Q（質問）	A（回答）
1	留学に関する学内奨学金の質問・相談・手続きはどこで行えばいいですか？	国際学部留学奨励金・留学奨学金についての質問・相談・手続きは、国際学部の事務室で行います。CIECで全学部の学生を対象に募集されるその他の学内奨学金（佐伯海外留学支援奨学金、認定留学助成金等）についての質問・相談・手続きは、CIECにて行います。各奨学金の募集は、国際学部やCIECの掲示板等でご案内します。
2	国際学部留学奨励金・奨学金以外の奨学金には申し込めないのですか？	国際学部留学奨励金・奨学金以外にも、CIECで全学部の学生を対象に募集される奨学金や学外の奨学金に応募することができます。ただし、一部の奨学金を除いて、奨学金を重複して受給することはできないので、注意してください。（原則として、国際学部留学奨励金・留学奨学金とその他の奨学金の両方に合格した場合、どちらか一方を選択してもらうことになります。）
3	中期留学に参加する場合、CIECが参加者全員に支給する奨学金：20万円と国際学部留学奨励金：40万円を重複して受給することはできますか？	できません。CIECが参加者全員に支給する奨学金：20万円と国際学部留学奨励金：40万円のいずれかを選択します。 この際、通常は、金額が多い国際学部留学奨励金を選択することとなりますが、例えば、2年次に中期留学、3年次に交換留学を考えている場合などは、2年次に中期留学奨学金20万円を受給し、3年次に国際学部留学奨励金60万円（2セマスタの交換留学の場合）を受給するといった選択も考えられます。（ただし、2年次に国際学部留学奨励金を受給せず、3年次に交換留学して受給しようと考えていたが、結果として交換留学に行くことが出来なかった場合でも、遡って2年次の国際学部留学奨励金を受給することはできません。）
4	私は、学内の奨学金（日本学生支援機構、関西学院大学支給・貸与奨学金）を受給しています。留学期間中、継続して奨学金を受給することは可能でしょうか？	受給されている奨学金の種別、留学の種別や留学の期間によって、受給の有無や必要な手続きが異なりますので、留学することが決定した時点で、学生証と印鑑を持参の上、必ず学生課（学生サービスセンター1階）に諸手続きを聞きにいらしてください。

【④その他の Q&A】

この他にも、CIEC 発行の「国際教育・協力プログラム募集要項」のFAQ（よくある質問と答）や日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援サイトを参考にしてください。

○参照：日本学生支援機構（JASSO）「海外留学支援サイト」のページ

<http://ryugaku.jasso.go.jp/>

IX その他・備考

1. Cross-Cultural College (CCC)

Cross-Cultural College (CCC)とは、カナダの3大学（マウント・アリソン、クイーンズ、トロント）と関西学院大学が協働で運営するプログラムであり、高い英語力と優れた課題解決力を兼ね備えることによって、多国籍な環境で活躍できる実践的な世界市民の育成を目指しています。CCCではCertificate Program、通称CPというプログラムを提供しており、所定の単位数とTOEIC®等の英語スコアを修得した学生に対して、CCCから証書を授与します。将来は国際的なビジネスに関わりたいという学生に特にお勧めのプログラムですので、興味のある方は、CCCのパンフレットで概要・詳細を確認の上、積極的に参加してください。

2. CIEC 留学準備講座

CIECでは、各種留学準備に役立つ授業を開講しています。留学計画を始めようとしているかたも、参加する留学が決まり実際に準備を進めているかたも、積極的に受講してみると良いでしょう(国際教育・協力プログラム募集要項 2019Volume Iを参照)。

3. キャンパス内での国際交流

国際学部では、授業や留学生生活以外でも、国内(キャンパス内)での国際交流を通して、普段の生活から異文化間理解を深めることができます。以下の制度やイベントをはじめ、世界各国からの教職員・留学生と積極的に交流して、日常の学生生活から異文化間理解能力・多文化共生能力を身につけましょう。

1. フジタグローバルラウンジ

FUJITA GLOBAL LOUNGEは、G号館にある外国人留学生と交流を深める憩いの場となっています。留学生との日常的な交流以外にも、留学生WEEKなどの国際交流イベントや各種留学イベントなども開催されます。

2. コーヒーアワー

コーヒーアワーとは、世界各国から来学した教員や外国人留学生と交流するイベントで、各学期3回程度、西宮上ヶ原キャンパスもしくは神戸三田キャンパスにて開催されます。コーヒー・お茶やお菓子を楽しみながら自由に歓談したり、クイズやゲームなどを通じて留学生とたくさんの交流が生まれます。コーヒーアワーは無料・申し込み不要・入退場自由ですので、みなさんも気軽に参加してみてください。

※2019年度の日程等、コーヒーアワーの詳細についてはCIECのWEBサイトや掲示板等でお知らせされます。

3. 留学生 WEEK

留学生 WEEK とは、毎年度 6 月に 1 週間程度開催される国際交流イベントです。留学生による日本語スピーチ発表会、留学生による出身国の文化紹介イベント、日本文化の体験イベントなど多数のイベントを実施します。また、留学生がオススメする出身国の料理を食堂で販売する「各国ランチフェア」も同時開催します。日本で異文化理解できる素晴らしい機会なので、積極的に参加してみてください。

4. 日本語パートナー

日本語パートナーとは、世界各国から来学した交換留学生に対して、関学生がボランティアで、日本語学習の相手や日本での生活に速やかに慣れるためのさまざまなサポートを行う制度です。留学生との交流を通じて異文化を理解する貴重な機会にもなり、毎年多くの関学生が活動しています。

※日本語パートナーの募集については、日本語・教育センターのホームページをご覧ください。https://www.kwansei.ac.jp/cjle/cjle_004054.html

4. リンク集

- 日本学生支援機構 (JASSO) 海外留学支援制度
<http://ryugaku.jasso.go.jp/>
- 外務省海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>
- 留学ジャーナル (留学用語集のページ)
<http://www.ryugaku.co.jp/dictionary/glossary/index.html>

5. 備考

本冊子で紹介した内容は 2019 年 3 月現在のものであり、今後変更の可能性があります。今後の変更・修正については、国際学部の掲示板や WEB サイト等で随時お知らせいたします。なお、本書の記載について不明な点は国際学部事務室に入室して確認してください。

国際学部事務室 事務取扱時間 (開室時間)

平 日 : 8 : 5 0 ~ 1 1 : 3 0、1 2 : 3 0 ~ 1 6 : 5 0

土曜日 : 8 : 5 0 ~ 1 2 : 2 0 (一斉土休日を除く)

- *夏季・冬季休暇中等は取扱時間が変わります。その際は掲示でお知らせします。
- *日曜日・祝日については事務の取り扱いを行いません (授業を実施する日を除く)。
- *一斉土休日 : 5 月、6 月、9 月、1 0 月の第 2 土曜日および 5 月の第 4 土曜日



Be a world citizen who renders service to humanity.